

「モルック交流大会」・はじめに

みなさん、モルックというニュースポーツをご存じですか。

フィンランドのカレリア地方のキッカというゲームをもとに 1996 年に開発されたスポーツで、母国フィンランドではサウナとビールを楽しみながらプレイされている、誰でも取り組める気軽なスポーツです。もともとはストーブ用のマキを集める際に投げていたことが始まりだともいわれています。

モルックは木製の簡単な用具と、4m×10m 程のコートがあれば、屋外、屋内を問わず、だれでもどこでも気軽に楽しめるスポーツです。

用具について少し詳しく説明すると、「モルック」という長さ 22.5 cm、直径 5.9 cm の棒と、「スキttl」という長さ 15 cm、直径 5.9 cm の棒 12 本、「モルッカーリ」という投擲エリアを示す細い棒が必要です。またコートは、公式には(日本モルック協会ルールブック)では 4m×10m 以上の広さとされています。

モルックを投げてスキttlを倒すことを「投擲」(とうてき)と言います。また 12 本のスキttlには 1 番から 12 番までの番号が付いています。対戦チームが交互に投擲して得点を争いますが、目標は 50 点です。どちらかが 50 点になればゲーム終了です。

投擲によって、1 本倒した場合は**その番号**が得点となり、2 本以上同時に倒すと**その本数**が得点となります。また 50 点を目指して投擲しましたが、残念ながら合計点が 50 点を超えてしまいました。その場合、そのチームは次の投擲を 25 点からスタートしなければなりません。まるで**すご六ゲーム**のようですがこれもモルックの面白さの一つとなっています。

50 点ピッタリが目標となっていますので、途中でどのスキttlを或いは何本倒すのがよいかなど、チームの投擲技術や作戦と相手チームとの駆け引きが大変重要になってきます。これがモルックのスポーツとしての醍醐味でしょう。

交流大会で行う際のルールや説明は「モルックのゲームの流れと基本ルール概要紹介」をお読みください。

やまきん モルック交流大会実施要領

1 趣旨

ニュースポーツとして、だれでも気軽に取り組むことができるモルックを楽しみ、ゲームを通して参加者の交流を図るとともに、モルックゲームの振興に寄与する。

2 開催日時

2025年11月 8日(土) 9:00~15:00

3 会場 京都府立山城勤労者福祉会館 屋外コート

4 参加費 1チーム 1,000円

5 募集チーム数 16チーム(小学校中学年以上2名または3名)

6 試合形式 4チーム/4コート

午前：4チーム/リーグ戦 午後：組替え4チーム/リーグ戦

7 勝敗 1ゲーム 15投 : 50点に近い得点のチームの勝利 ただし、ゲーム中チーム得点が50点となった場合、 そのチームの勝利が確定する。

8 ゲーム進行 各コート審判1名(やまきんモルック同好会)を置く。

9 ルール 日本モルック協会の「公式ルールガイドブック」に準拠 ただし、一部交流大会ローカルルールを採用する。

10 その他

- ・ 雨天中止(前日までに各チーム代表に連絡)
- ・ モルック用具の貸出：10月より希望チームに1週間
- ・ 交流大会詳細は「モルックゲームの流れと基本ルール概要説明」参照